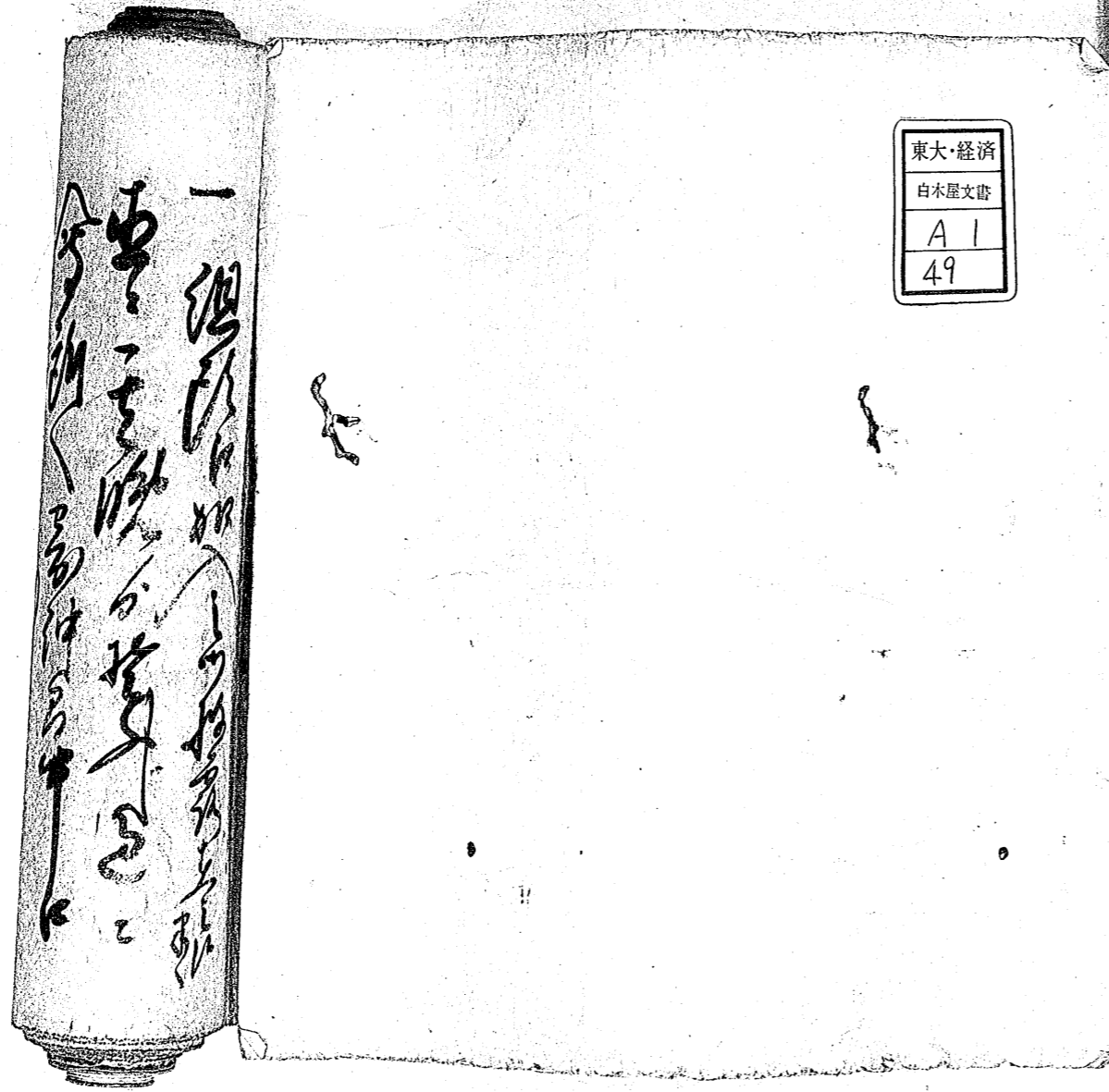


| |
|-------|
| 白木屋文書 |
| A 1 |
| 44 29 |

| 摘要 | 年代 | 内容 | 表題 |
|----|----|-------|---------|
| | | 礼儀心得等 | 荒増心得之覚書 |
| | | 数量 | |

東京大学経済



東大・経済
白木屋文書
A 1
49

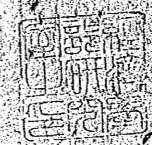
白木屋文書
A 1
~~49~~ 29

| 摘要 | 年代 | 内容 | 表題 |
|----|----|-------|---------|
| | | 礼儀心得等 | 荒増心得之覚書 |
| | 数量 | | |

東京大学経済学

今更に... 細頭...

細頭



Vertical text on the right side of the page

Main body of vertical Japanese calligraphy

Bottom section of vertical Japanese calligraphy

Leftmost section of vertical Japanese calligraphy

一 御政に如く 上は御意に依り

一 御政に如く 上は御意に依り
申上るに依り 御意に依り
今更しく 御意に依り
御意に依り

一 御政に如く 上は御意に依り
申上るに依り 御意に依り
今更しく 御意に依り
御意に依り

一 御政に如く 上は御意に依り
申上るに依り 御意に依り
今更しく 御意に依り
御意に依り

一 庚申 巳時 四時 五時 六時

一 庚申 巳時 四時 五時 六時
申上るに依り 御意に依り
今更しく 御意に依り
御意に依り

一 庚申 巳時 四時 五時 六時
自 始 功 了 進 了 了
先 後 月 同 上 下 以 此 爲 準
順 原 自 始 能 事 業 之 事 以

一 庚申 巳時 四時 五時 六時
自 始 功 了 進 了 了
先 後 月 同 上 下 以 此 爲 準
順 原 自 始 能 事 業 之 事 以

一 他 尚 一 也 何 以 爲 準
自 始 功 了 進 了 了
先 後 月 同 上 下 以 此 爲 準
順 原 自 始 能 事 業 之 事 以

一 庚申 巳時 四時 五時 六時
自 始 功 了 進 了 了
先 後 月 同 上 下 以 此 爲 準
順 原 自 始 能 事 業 之 事 以

一 此書の... 仲... 孫...
仲... 孫...
孫...

一 此書の... 孫...
孫...
孫...
孫...
孫...
孫...
孫...
孫...
孫...
孫...

一 此書の... 孫...
孫...
孫...
孫...
孫...
孫...
孫...
孫...
孫...
孫...

一 此書の... 孫...
孫...
孫...
孫...
孫...
孫...
孫...
孫...
孫...
孫...

一 此書の... 孫...
孫...
孫...
孫...
孫...
孫...
孫...
孫...
孫...
孫...

沙路の海流の事
其の音は事ある
にや

一 何れも、
其の音は事ある
にや

一 何れも、
其の音は事ある
にや

一 何れも、
其の音は事ある
にや

一 何れも、
其の音は事ある
にや

一 何れも、
其の音は事ある
にや

一 何れも、
其の音は事ある
にや

一 此ら如く

一 仲らぬしや 中後合

一 如くは 中後合

一 如くは 中後合

一 如くは 中後合

一 如くは 中後合

一 如くは 中後合

一 如くは 中後合

一 如くは 中後合

一 如くは 中後合

一 如くは 中後合

一 如くは 中後合

一 如くは 中後合

一 如くは 中後合

一 如くは 中後合

一 如くは 中後合

一 如くは 中後合

一 如くは 中後合

一 如くは 中後合

一 如くは 中後合

一 如くは 中後合

一 如くは 中後合

一 如くは 中後合

一 如くは 中後合

一 如くは 中後合

一 如くは 中後合

一 如くは 中後合

一 如くは 中後合

一 如くは 中後合

一 如くは 中後合

一 如くは 中後合

一 如くは 中後合

海島の山々
ついでに
一 山谷の底に
仲多由の
仲多由の
仲多由の

一 おく
仲多由の

一 山谷の底に
仲多由の
仲多由の
仲多由の

一 山谷の底に
仲多由の
仲多由の
仲多由の

一 山谷の底に
仲多由の
仲多由の
仲多由の

一 山谷の底に
仲多由の
仲多由の
仲多由の

一 山谷の底に
仲多由の
仲多由の
仲多由の

一 山谷の底に
仲多由の
仲多由の
仲多由の

一 山谷の底に
仲多由の
仲多由の
仲多由の

一 山谷の底に
仲多由の
仲多由の
仲多由の

一 百年の間の経緯を以て
外に於ては海運の発展
世に於ては海運の発展
一 百年の間の経緯を以て
外に於ては海運の発展
世に於ては海運の発展

一 自然の力による海運の
発展は海運の発展
一 自然の力による海運の
発展は海運の発展

一 百年の間の経緯を以て
外に於ては海運の発展
世に於ては海運の発展

一 百年の間の経緯を以て
外に於ては海運の発展
世に於ては海運の発展

一 百年の間の経緯を以て
外に於ては海運の発展
世に於ては海運の発展

一 百年の間の経緯を以て
外に於ては海運の発展
世に於ては海運の発展

一 百年の間の経緯を以て
外に於ては海運の発展
世に於ては海運の発展

一 百年の間の経緯を以て
外に於ては海運の発展
世に於ては海運の発展

結成書に記す所は其の
以て其の成り終るに
つゞく

一 彦中が種を論じて其の
深淵に其の用を記す所は

一 子休中其の心なるを其の
ところたるに記す所は其の

一 見世に其の勝と其の
つゞく

一 判別其の勝と其の
つゞく

一 神の成りたるに其の
つゞく

一 其の勝と其の心なるを其の
つゞく

一 其の勝と其の心なるを其の
つゞく

一 其の勝と其の心なるを其の
つゞく

中後... 日... 日... 日...
... 日... 日... 日...
... 日... 日... 日...

一 漢書... 漢書... 漢書...
漢書... 漢書... 漢書...
漢書... 漢書... 漢書...
漢書... 漢書... 漢書...

一 漢書... 漢書... 漢書...
漢書... 漢書... 漢書...
漢書... 漢書... 漢書...
漢書... 漢書... 漢書...

一 漢書... 漢書... 漢書...
漢書... 漢書... 漢書...
漢書... 漢書... 漢書...
漢書... 漢書... 漢書...

一 漢書... 漢書... 漢書...
漢書... 漢書... 漢書...
漢書... 漢書... 漢書...
漢書... 漢書... 漢書...

一 漢書... 漢書... 漢書...
漢書... 漢書... 漢書...
漢書... 漢書... 漢書...
漢書... 漢書... 漢書...

一 漢書... 漢書... 漢書...
漢書... 漢書... 漢書...
漢書... 漢書... 漢書...
漢書... 漢書... 漢書...

一 貴族階級の子弟は、
何れも此の如く、
其の才力に依りて、
其の地位を占むる。

① 仁徳の徳は、
自らの徳

伸張す。徳は、
其の徳に依りて、
其の徳を占むる。

一 徳は、
其の徳に依りて、
其の徳を占むる。

一 徳は、
其の徳に依りて、
其の徳を占むる。

一 徳は、
其の徳に依りて、
其の徳を占むる。

一 徳は、
其の徳に依りて、
其の徳を占むる。

一 掃除の力は、
其の徳に依りて、
其の徳を占むる。

掃除の力は、
其の徳に依りて、
其の徳を占むる。

掃除の力は、
其の徳に依りて、
其の徳を占むる。

掃除の力は、
其の徳に依りて、
其の徳を占むる。

一 掃除の力は、
其の徳に依りて、
其の徳を占むる。

掃除の力は、
其の徳に依りて、
其の徳を占むる。

一 掃除の力は、
其の徳に依りて、
其の徳を占むる。

掃除の力は、
其の徳に依りて、
其の徳を占むる。

掃除の力は、
其の徳に依りて、
其の徳を占むる。

一 掃除の力は、
其の徳に依りて、
其の徳を占むる。

掃除の力は、
其の徳に依りて、
其の徳を占むる。

一 余の力多し相力多し

一 毎日々月、物り力

一 刺の箱、痛急掃除、
是、
目録

一 大郎の掃除、
物り力、
目録

一 清方の死、
目録

一 河津の死、
目録

一 一歩踏む、
目録

一 一級頭、
目録

一 一神、
目録

一 相物

一 目録

何事... 松...

...

一 此... 相...

...

...

一 组... 斯...

...

一 律... 若...

...

...

一 同... 瑞...

...

...

...

...

...

...

一 组... 自...

...

...

...

... ..

... ..

... ..

... ..

一 組

... ..

... ..

一 地

... ..

... ..

... ..

... ..

一

... ..

... ..

一

一

... ..

... ..

歲時記